

がんばれ！
たかはまの未来市民！

第31回 少年の主張 大会

わたしたちの「想い」を伝えたい！

7月5日、いきいき広場ホールにて「第31回少年の主張大会」を開催しました。市内小中高等学校の代表が発表を行い、約180人の来場がありました。どの発表も子どもたちの想いであふれ、大人も考えさせられる内容でした。発表者だけではなく、高浜中学校3年・青木七海さん、南中学校3年・多田萌乃さんも素晴らしい司会をつとめ未来市民の頼もしい姿をみせてくれました。作文は、市公式ホームページでも公開します。

高浜小学校6年 川崎麗美花さん 「大切なのはマナーモードでいること」

日常のさまざまな場面でのマナーの体験から、マナーモード、“みんなに迷惑をかけない”“人を思いやること”の大切さを発表しました。楽しく、気持ちよく生活するために、マナーモードでいることを大切にしていきたいです。



▲司会の2人

吉浜小学校6年 生見浩子さん 「りっぱな大人とは」

「りっぱな大人とは？」について、自分なりの意見や疑問を作文にしています。自分が考える立派な大人になる努力をしています。

高取小学校6年 藤堂ひかるさん 「私ができること」

自分が参加した子ども防災リーダー養成講座から、大好きなふるさと高浜を守るために自分にできることに気づきました。それは、自分が体験し、学んだことを「伝えること」です。



港小学校6年 西原亜季さん 「本当の私と本当の友達」

友だちと本音で接することのできない自分に気づき、本当の自分、友だちについて発表しました。本当の友だちになるために、素直な気持ちで友だちと接することができる自分になりたいです。

翼小学校6年 浅川はな乃さん 「おじいさんとの出会い」

迷子になっていたおじいさんとの出会いから、困っている人がいたら、素直な気持ちで手を差し伸べることの大切さを発表しました。自分も進んで人助けをし、住みやすい町になるといいなという気持ちを込めました。



高浜中学校3年 熊谷マリアさん 「私から見た日本」

ブラジルから日本に来て6年目を迎え、外国から来たからこそわかる日本のよい所について発表しました。日本が大好きで、日本で経験し、感じたことを広めていきたいです。

南中学校3年 水上愛美さん 「生きることの意味」

自分を大切にしてくれる家族や、1日でも長く生きたいと頑張っている人の経験から、「命の大切さ」を発表しました。この主張を通じ、「もっと命を大切にしよう」と伝えたい。それがわたしの生きる意味です。



高浜高校3年 宮田望さん 「私が誇りに思うこと」

市民ムービー「タカハマ物語」の撮影と上映会に携わり、人前で勇気と自信を持って話せるようになったと発表しました。映画がきっかけとなって、「映像を撮る」という夢を見つけました。

問合せ先 団文化スポーツグループ ☎ 52-1111 (内線 331)